

交渉速報

J R 貨物労組本部業務部

2015年10月22日

No.2

組合：欠員状態で苦闘してきたことは従前の比ではない！

この間の組合員の苦労を年末手当で還元せよ！

会社：職場の協力が収入に反映していることは認識している

主張は経営陣に伝える。今後も真摯な議論を行いたい

《2015年度 第2回年末手当交渉報告》

中央本部は、本日10時から年末手当第2回交渉（収入動向）について交渉を行いました。主な内容は以下の通りです。

【鉄道事業部門】

- ①上半期の収入動向について。コンテナは農産品・青果物、積合せ貨物、食料工業品が好調であった。一方、自動車部品、家電・情報機器、紙・パルプが不調であり、全体では△11億3200万円（対計画97.9%）となった。車扱は、石油輸送が好調であり、全体で+1億9000万円（対計画103.9%）となった。コンテナと車扱の合計は、△9億4100万円となった。
- ②営業施策は31億円の収入効果を計画したが、結果は28億円であった。内訳は、運賃改定・積載率向上・新規及び既存荷主開拓等である。下半期は、モーダルシフトの勢いやトラックドライバー不足の流れを取り込み46億円の営業施策を展開していく。

【事業開発部門】

- ①上期の収入動向を踏まえ、10月期改定では年初計画324億2600万円を323億9900万円（△2000万円）の改定を行った。改定計画を達成するため、現在進行している開発等を着実に進めて行く。
- ②上半期に収入を見込んでいた鉄道補完の物件購入（3億円）が実現出来なかった。10月期改定では計画から外すが、引き続き取り組んでいく。その分を鉄道附帯（1億4900万円）及び関連事業（1億6300万円）で補っていく。

【主な交渉内容】

組合：営業統括部として上半期をどの様に評価しているのか。

会社：様々な営業施策を打った効果は出ていると認識している。9億円が未達となったが、その内、3億円は営業施策が奏功しなかった。残りの6億円は景気回復で増送を期待した。しかし景気回復が想定より悪かった。モーダルシフトの勢いはあり、新規及び既存荷主の拡大等に取り組んで行く。また営業スタッフ強化や組織改正を行っており、収入効果を着実にあげていく。

組合：モーダルシフトの勢いやトラックドライバー不足の流れはある中で、ORS廃止を含めた施策を出すことは、顧客・通運の信頼を失うこととなる。今回の施策で運賃改定や積載率向上の施策が進んでい

ないのではないか。

会社：信頼を失わないように真摯に対応している。打ち出しが「ORS廃止含む」であったので、相手方に戸惑いがあったが、現在は真剣な交渉を行っている。

組合：ORS廃止のように収入を減少させる恐れのある施策ではなく、運賃改定などの営業施策に力を入れるべきである。

会社：組合の指摘は受け止める。

組合：積載率は向上しているにも関わらず収入に反映していないと感じる。運賃設定は顧客のニーズ・荷物の使命・単価等でもっと区別すべきではないか。また列車体系も使命を明確にした上で戦略的な設定を行うべきではないか。

会社：運賃負担力の議論はある。特積み貨物はリードタイムなどのニーズに応えなければならない。そこまでの列車体系となっているのかと言われれば課題がある。今後の課題として受け止めたい。

組合：下半期は、秋冬期・年末年始・年度末需要があり計画値も高く設定されている。各支社にも営業施策の着実な実行を求めることとなるが、本社として計画を立てた責任を全うすること。

会社：トップセールス及び本社荷主については本社として責任を持って進めて行く。また支社とは情報の共有を進めて行く。

組合：上半期は、災害対応やフェリー火災による臨時列車の運行など、職場からの努力によって収入に反映したことは言うまでもない。また要員を満たしていない中で、臨時列車や臨時積載などを取り組んでいる。その意味ではこれまでの苦労とは比較にならないことを会社は真摯に受け止めること。若年退職は止まらないどころか増加傾向である。これは危機的な状況であり、貨物会社として組合員の期待に応える、モチベーションが向上する回答を示すべきである。このことを経営陣に伝えること。

会社：職場の努力の結果が収入動向の数字に表れていることは認識している。また欠員の中で苦労してきたことの主張については、経営陣にきちんと伝える。今後も真摯な議論を行っていきたい。

災害・輸送障害時はもちろん、慢性的に要員需給が逼迫する職場環境の中で、貨物労組は「職場と仕事と生活を守る」ため、各系統に従事する組合員が責務を果たしてきました。中本部は、交渉を通じて組合員の頑張り・想いを訴えてきました。15春闘・夏季手当交渉の悔しさを糧に、要求実現に向けて交渉を強化していくことを明らかにして、第2回年末手当交渉報告とします。

次回、第3回交渉は10月28日（水）です

以上